

最初の祈り

導入：短い復習をしたいと思います。もう旧約聖書の本について学びました。いろいろな事実を学びました。今週、新約聖書の本について学ぶの間に、覚えて欲しいことは新約聖書でも旧約聖書でも聖書の本は年代順で書かれませんでした。さらに、著者は靈感によって、聖書を書きました。

ペテロ第二 1 : 2 1

1. 福音書：最初に福音書が4冊あります。もう学びました。イエス・キリストの誕生や人生、十字架や甦りなどのような話を伝えます。イエス様は12人の弟子達に天国を教えました。

使徒の働き：次の本は使徒の働きで歴史的な本です。著者はルカという医者です。エベントは紀元前33—62。三つの部分でローマ帝国に福音が広がることを伝えます。

1. ペテロの宣伝 使徒の働き 2 : 1 4 、 4 1
2. フィリップはサマリアに行きました。使徒の働き 8 : 4 – 4 0
3. 使徒パウロの人生

2. パウロの手紙：

ローマ人への手紙：イエス・キリストの救いについて手紙です。手紙の目的はユダヤ人でも異邦人でもみんなは罪を犯しました。だから、みんなは全世界の救い主が入ります。ローマ教会には異邦人もユダヤ人もいました。ローマは帝国の首都でした。

ローマ人への手紙 3 : 2 3 、 1 0 : 9 – 1 0

コリント人への手紙第一：この場所は大切です。人々はいろいろです。教会はたくさん の問題と分裂がありました。手紙は導きを伝えました。コリント人は埃でいっぱいですが、パウロは愛が必要だのように説明しました。

コリントへの手紙第二：パウロは偽り（いつわり）の教師たちからの攻撃に対して、自分の品性（ひんせい）と使徒職を擁護（ようご）しました。

ガラテヤ人への手紙：ガラテヤ人は偽りの教師によって、だまされたので、使徒パウロはこの手紙を書きました。ガラテヤ人はイエス・キリストにある信仰の代わりにモーセの法律で神様を礼拝し始めました。

ガラテヤ人への手紙 3 : 1

エペソ人への手紙：エペソはディアナ神殿で有名です。テーマはクリスチヤンがキリスト

トにあって持っている富（とみ）です。これは靈的な富です。さらに、神様の目にはクリスチャンの身分について伝えます。

エペソ 2 : 6

ピリピ人への手紙：パウロは刑務所にこの手紙を書きました。大変な状況があっても喜びと平和をもつべきです。

ピリピ 4 : 4、13

コロサイ人への手紙：テーマはイエス・キリストの完全性です。

コロサイ人への手紙1:16-20